

# 事業継続マネジメント（BCM）関連用語 英日対訳表

## English - Japanese vocabulary on business continuity management (BCM)

最終更新日：2024年4月10日／編集者：田代 邦幸

Last updated at 10 Apr. 2024 / Edited by Kuniyuki Tashiro FBCI

E-mail: [toiawase@office-src.com](mailto:toiawase@office-src.com)

この表は、BCMに関する英文資料を読んだり翻訳したりする際の参考に使っていただくことを想定して作成・公開しているものです。

私（田代邦幸）個人として作成しているものであり、公的な標準訳ではありません。あくまでも参考資料としてご利用ください。

また、この表の内容に関しまして、間違いの指摘やご意見・ご質問などありましたら、上記メールアドレスまでご連絡いただければ幸いです。

訳語の検討においては、できるだけ日本産業規格（JIS規格）で用いられている用法に準拠するよう努めており、規格に準拠したのものについては「Basis」欄にその規格の番号を記載しています。また、訳語の選択理由をできるだけ「Memo」欄に記述するようにしています。

この表はまだ作成途中であり、現在掲載されていない用語も今後追加していく予定です。現時点ではJIS規格に準拠している用語を優先的に掲載してあります。また、かつてBCIのGood Practice Guidelines（略称GPG）の翻訳作業において作成していた表がもとになっているため、GPGの中で用いられる用語を優先的に掲載してあります。

This table is intended to be used as a reference in reading or translating any English documents related to business continuity for Japanese BC practitioners. This is my private translation, so it is not an official document of any organization. If you have any suggestions for correction, questions, or comments, it would be appreciated if you could send me on the mail address above.

ISO standards for business continuity was translated to Japanese and issued as Japanese Industrial Standards (JIS) with same number. For example, ISO 22301 was translated as JIS Q 22301. So translation for some words are aligned with JIS, then the standard numbers are put in "Basis" field for such words.

"Memo" field is used to explain basis or reason of translation and special remarks for use. However currently Japanese only, English memo would be filled in future edition.

This table is under development, more words will be added in future edition. Since it is originally developed in the process to translate the BCI Good Practice Guidelines to Japanese, the words used in the GPG were preferentially chosen.



本資料はクリエイティブ・コモンズ CC BY-SA 4.0 国際ライセンスに従ってご利用いただくものとします。

ライセンスの内容につきましては <https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/legalcode.ja> にてご確認ください。

This document is licensed under a Creative Commons CC BY-SA 4.0 International License.

To view a copy of this license, visit <https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/legalcode>

English	Japanese	Basis	Memo (English)	Memo (Japanese)
activation	発動	JIS Q 22301:2020		
activity	活動／事業活動	JIS Q 22301:2020		JIS Q 22301:2020 では文脈によって使い分けられている。
activity BIA	活動 BIA			BIA の種類の一つとして GPG で用いられている。
after-action report	事後の報告書	JIS Q 22398:2014		
agreed upon	合意			GPG で頻出する表現。「承認」というほど強くないと思われる。
aim	狙い	JIS Q 22301:2020		
Analysis	分析		Title of PP3.	PP3 のタイトルの訳として提案。
approach	アプローチ			
approve	承認			「sign-off」も同様だと思われる。
arrangement	準備、手配、実施、 取り組みなど			文脈によって訳語を使い分ける。
audit	監査	JIS Q 22301:2020		外部審査機関による審査も英語圏では「audit」という。
awareness	認識	JIS Q 22301:2020		

English	Japanese	Basis	Memo (English)	Memo (Japanese)
awareness campaign	認識向上キャンペーン	JIS Q 22313:2020		JIS Q 22313 で「awareness program」を「認識向上プログラム」と訳しているのに準拠。
BC arrangement / Business Continuity arrangement	事業継続の取決め	JIS Q 22313:2020		文脈によっては「準備状況」などと訳した方がよい場合があると思われるが、JIS では「取決め」で統一されている。
BC capability	事業継続能力			もともと「business continuity」という用語自体が事業継続に関する能力として定義されているので、「事業継続能力」と訳すと意味が重複するが、日本語ではこのような表現の方が分かりやすいと思われる。
BC Policy	事業継続ポリシー			JIS Q 22301:2020 では「事業継続方針」と訳されているが、GPG では「policy」に対して、単に「方針」を超えた、どちらかという「政策」に近いようなものを含むよう求めているため、「方針」と訳すのは適切でないと思われる。
BC professional	事業継続の実務者			企業などでの事業継続の担当者なども含めて、事業継続に関する仕事で収入を得ている人々を広く総称して、このように呼ばれている。
BC Program	事業継続プログラム			
BCM Lifecycle	BCM ライフサイクル			GPG の 2018 年版まで用いられていた用語。 Edition 7.0 から「BCMS」という表現に統一された。
business continuity plan	事業継続計画	JIS Q 22301:2020		

English	Japanese	Basis	Memo (English)	Memo (Japanese)
business continuity plans and procedures	事業継続計画および手順	JIS Q 22301:2020	Section title of 8.4 on ISO 22301/22313	ISO 22301/22313 の 8.4 項の項目タイトルとして用いられている。
business continuity solution	事業継続ソリューション			「business continuity strategies and solutions」参照
business continuity strategy	事業継続戦略			「business continuity strategies and solutions」参照
business continuity strategies and solutions	事業継続戦略およびソリューション	JIS Q 22301:2020	Section title of 8.3 on ISO 22301/22313	ISO 22301/22313 の 8.3 項の項目タイトルとして用いられている。 (JIS Q 22301/22313 では「事業継続戦略及び具体策」と訳されているが、規格においては「solutions」に具体性を求められていないので、誤解を招かないよう「ソリューション」と呼んだほうが良いのではないかと。) )
business impact analysis, BIA	事業影響度分析	JIS Q 22301:2020		
business impact analysis and risk assessment	事業影響度分析およびリスクアセスメント	JIS Q 22301:2020	Section title of 8.2 on ISO 22301/22313	ISO 22301/22313 の 8.2 項の項目タイトルとして用いられている。
buy-in				自ら取り組むことを引き受ける姿勢を言う
command and control	指揮・統制	JIS Q 22320:2013		
command center	指揮センター	JIS Q 22320:2013		JIS Q 22320 では「command」を「指揮」と訳されているため。
commitment	コミットメント			

English	Japanese	Basis	Memo (English)	Memo (Japanese)
competence	力量	Various JIS standards		JIS のマネジメントシステム規格では概ねこのように訳されているため。
Concepts and Considerations	概念および考慮すべき事項			GPG の中でセクションの見出しとして使われている。
continuity	継続、継続力、事業継続、事業継続力			文脈によって訳語を使い分ける。なお、前にあるべき「business」が省略されていると思われる場合においては「事業継続」または「事業継続力」と訳した方がよいと思われる。
coordinate	連携	JIS Q 22320:2013		文脈によっては「調整」と訳すべき箇所もあるかもしれない。
crisis	危機	JIS Q 22301:2020		
Design	デザイン		Title of PP4.	PP4 のタイトルの訳として提案。
discipline	(マネジメント活動の) 領域		cf. "management discipline"	「management discipline」参照
disruption	事業中断			「disruption」はもともと「中断」「混乱」「途絶」など様々な意味を包含する用語なので、実際にどう訳すかは文脈によるが、GPG においては「事業中断」と訳した方が収まりが良い場合が多い。
diversification	多重化			事業継続ソリューションのひとつ。文脈によっては「多拠点化」などとした方がよい場合もあり得る。
documented	文書化された	Various JIS standards		JIS のマネジメントシステム規格では概ねこのように訳されているため。

English	Japanese	Basis	Memo (English)	Memo (Japanese)
embed	根付かせる			「embed」には「組み込む」「埋め込む」といった意味があるが、文脈から左記を提案する。
Embedding Business Continuity	事業継続の定着化		Title of PP2 on the GPG 2018 edition.	GPG 2018 年版における PP2 のタイトル (Edition 7.0 では「Emblacing Business Continuity」となった)。「embed」には「組み込む」「埋め込む」といった意味があるが、タイトルとして使うには不向きと思われたので左記を提案する。
emergency	緊急事態	JIS Q 22301:2020		
emergency service	緊急対応サービス			消防や救急などを指す。
event	事象	JIS Q 22301:2020		
exercise	演習	JIS Q 22301:2020		
exercise programme	演習プログラム	JIS Q 22301:2020	Section title of 8.5 on ISO 22301/22313	ISO 22301/22313 の 8.5 項の項目タイトルとして用いられている。
framework	枠組み			
General Principles	一般原則			各 PP 中のセクション見出しとして用いられている。

English	Japanese	Basis	Memo (English)	Memo (Japanese)
implement	実現、実行、導入			文脈によって訳語を使い分ける。例えば、「事業継続のための戦術を implement する」のように、それを行ったとしても効果がすぐ現れない（インシデントが発生して初めて効果が現れる）ようなものについては、「実行」だと違和感がある（平常時には準備をするだけだから）。そういうものは「導入」とする。IT 業界では「実装」という表現が普及している。
Implementation	実施	JIS Q 22301:2020	Title of PP5 on the GPG 2018 edition.	GPG 2018 年版における PP5 のタイトル（Edition 7.0 では「Enabling Solutions」となった）。
incident	インシデント	JIS Q 22301:2020		
incident log	インシデントログ			
incident management	インシデントマネジメント	JIS Q 22313:2021		
incident response	インシデント対応	JIS Q 22313:2021		
inject	付与状況	JIS Q 22398:2014		演習参加者に提示する状況のことを「付与状況」、それを提示する行為のことを「状況付与（する）」という。
interested party	利害関係者	JIS Q 22301:2020		
key suppliers	主要なサプライヤー	JIS Q 22313:2021		8.2.2 項で「“critical”, “essential”, “vital” and “key”」が「“重要な”, “必須の”, “不可欠な” 及び “主要な”」と訳されている。

English	Japanese	Basis	Memo (English)	Memo (Japanese)
leadership	リーダーシップ	JIS Q 22301:2020	Section title of 5 on ISO 22301/22313	ISO 22301/22313 の 5 項の項目タイトルとして用いられている。
logistics	輸送手段、ロジスティクス	JIS Q 22313:2021		JIS Q 22301/22313 では「輸送手段」と訳されているが、文脈によっては「兵站」の意味で使われることがある。ただしこの場合、「兵站」という用語は一般的でないため、そのままカタカナで表記した方がよいと思われる。
maintenance	維持	JIS Q 22301:2020		文脈によっては「維持作業」もしくは「保守」の方が良い場合もある。
management discipline	マネジメント領域			GPG の中では特に、リスクマネジメントや情報セキュリティなど、BCM と関連する領域を指して用いられている。
Management Practices	マネジメント実践領域			GPG における PP1-2 の総称。
management process	マネジメントプロセス	JIS Q 22301:2020		
management structure	マネジメント体制	JIS Q 22301:2020		JIS Q 22301/22313 で「response structure」を「対応体制」と訳しているため。
maximum tolerable period of disruption	最大許容停止時間、MTPD	JIS Q 22301:2020		
measurement	測定	JIS Q 22301:2020		文脈によっては「評価」と訳した方が良い場合もあり得る。

English	Japanese	Basis	Memo (English)	Memo (Japanese)
Methods and Techniques	方法論と実践的手法			各 PP 中のセクション見出しとして用いられる場合の表記として提案。「method」と「technique」とは両方とも「手法」と訳せるので、実際に GPG に書かれている内容を考慮し、これらの区別を意識して左記を提案。
minimum business continuity objective, MBCO	最小事業継続目標	JIS Q 22313:2021		
mobilization	動員	NIMS/ICS 両用語集		レジリエンス協会 ICS 関連用語 標準日本語訳リスト
monitoring	監視	Various JIS standards		JIS のマネジメントシステム規格では概ねこのように訳されているため。
objective	目的、目標	JIS Q 22301:2020		JIS Q 22301/22313 でも文脈によって「目的」と「目標」とが使い分けられている。
operational	運用の、運用的、実務の、実務的	JIS Q 22301:2020		JIS Q 22301/22313 では基本的に「運用」もしくは「運用的」などと訳されているが、文脈によっては「実務」もしくは「実務的」の方が違和感が少ないのではないかと。
Operational planning and control	運用の計画および管理	JIS Q 22301:2020	Section title of 8.1 on ISO 22301/22313	ISO 22301/22313 の 8.1 項の項目タイトルとして用いられている。
outsource	外部委託する	JIS Q 22301:2020		
outcome	結果、成果	JIS Q 22301:2020		JIS Q 22301/22313 でも文脈によって「結果」と「成果」とが使い分けられている。
Outcomes and review	成果とレビュー			GPG 中でセクションの見出しとして使われている。
Post exercise debriefing	演習後の反省会	JIS Q 22398:2014		

English	Japanese	Basis	Memo (English)	Memo (Japanese)
post-incident report	インシデント発生 後の報告	JIS Q 22301:2020		
post-incident review	インシデント発生 後のレビュー	JIS Q 22313:2021		
process BIA	プロセス BIA			
product and service BIA	製品・サービス BIA			
Professional Practices	プロフェッショナル 実践領域			GPG における PP の総称。
recover	復旧	JIS Q 22301:2020		
recovery point objective, RPO	目標復旧時点	JIS Q 22313:2021		
recovery time objective, RTO	目標復旧時間	JIS Q 22301:2020		
resources	資源	JIS Q 22301:2020		
response structure	対応体制	JIS Q 22301:2020		
restore	回復、復元	JIS Q 22301:2020		JIS Q 22301/22313 でも文脈によって使い分けられている。
resume	再開	JIS Q 22301:2020		
resumption	再開	JIS Q 22301:2020		
review	レビュー	JIS Q 22301:2020		文脈によっては「見直し」の方が読みやすい場合もある。
risk assessment	リスクアセスメン ト	JIS Q 22301:2020		

English	Japanese	Basis	Memo (English)	Memo (Japanese)
scope	範囲、適用範囲、 対象範囲	JIS Q 22301:2020		JIS Q 22301/22313 では「適用範囲」と訳されているが、実際には文脈によって訳語を使い分けた方が良いと思われる。
service level agreements, SLA	サービスレベル合 意書	JIS Q 22313:2021		特に IT 業界では「SLA」として定着している。
sign-off	承認			基本的に「approve」と同義と考えて良いのではないかとと思われるが、「sign」という単語が使われているので、より正式な手続きを含むというニュアンスがあるかもしれない。
single points of failure, SPOF	単一障害点、SPOF	JIS Q 22313:2021		
skill	スキル			基本的には「能力」の意味だが、GPGで「skill and competence」という表現が頻出するため、competenceとの違いを強調するために、より単機能的な感じがする「スキル」を提案する。
solution	ソリューション			
statement	声明	JIS Q 22313:2021		「ステートメント」でもいいかも知れない。
steering group	運営グループ	JIS Q 22313:2021		
Technical Practices	技術的実践領域			GPGにおけるPP3-6の総称。
test	試験、テスト	JIS Q 22301:2020		文脈によって訳語を使い分ける。なおJIS Q 22301では「試験」と訳されている。
threat	脅威	JIS Q 22313:2021		
top management	トップマネジメン ト	Various JIS standards		JISのマネジメントシステム規格では概ねこのように訳されているため。

English	Japanese	Basis	Memo (English)	Memo (Japanese)
training	訓練、教育訓練	JIS Q 22301:2020		JIS Q 22301/22313 でも文脈によって使い分けられている。
Validation	妥当性確認	Various JIS standards	Title of PP6.	PP6 のタイトルの訳として提案。 JIS のマネジメントシステム規格では概ねこのように訳されている。
welfare	福祉	JIS Q 22301:2020		文脈によっては「福利厚生」という訳もあり得る。